

第7日の見どころ

光星打撃陣、どう攻め崩す 対左打者、継投機ポイント

八学光星打線が愛工大名電投手陣をどう攻め崩すか。光星は今夏の甲子園初戦でスタメン7人に安打が出るなど長短12安打で7点を挙げた。織笠陽多ら中軸は計5打点と勝負強さが光った。佐藤航太ら上位が出塁し、揺さぶって好機を着実に生かしたい。守っては、スタメンに左打者が多い相手打線に5投手をどう起用していくか、継投

【2回戦】▽第2試合（10時30分）

八学光星—愛工大名電（愛知）

のタイミングがポイントになる。

名電投手陣は、140キロ台中盤の直球と切れのある変化球で勝負する左腕有馬伽久、最速140キロ超の右腕山田空暉ら実力派ぞろい。打線は、甲子園初戦で4安打6打点だった7番美濃十飛をはじめ、今春の選抜大会8強の星稜（石川）を圧倒した打撃力、機動力は脅威だ。

（福田駿）